

松林／  
要約筆記という  
コミュニケーション手段を  
初めて知った。  
新聞記者に  
求められているものと  
似ている。  
取材した内容を  
要約することが必要になる。  
大学で、  
マスコミ志望の  
学生を教えている。  
実習も行う。  
ニュースに書かれている内容は、  
すべて要約である。  
新聞やテレビをみて、  
分かった気になるが、  
情報の一部でしかない。  
取材は最低1時間は行う。  
その情報は膨大。  
記事は1000字以内。  
ベタ記事という  
短いものは、  
150～200文字。  
まとめるとき、  
難しいのは、  
情報をいかに絞るか。  
長い記事は、1週間、半年かけて  
取材する。  
一冊本が書けるくらい。  
それを  
記事にまとめるには、  
いかに捨てるか。  
究極の選択。  
日々の速報は、  
時間との戦い。

取材しつつ、  
頭のなかで取捨選択する。  
取材後40分くらいで  
書き上げる。  
まさに要約を行っている。  
大事なことを残して、  
ノイズを捨てる。  
記事の枠を考えて、  
捨てる。  
要約筆記と共通性がある。  
皆さんは、より  
同時的でしょう。  
新聞記者も、  
要約し、  
分かりやすく伝えている。  
皆さんにお話する意味があると  
感じた。